

## 令和7年度 地域連携推進会議議事録

法人名	社会福祉法人 キャンバスの会		
開催場所	共同生活事業所キャンバス 久保原南ホーム		
開催日時	令和7年12月5日(金) 13:00~14:00		
施設訪問日	令和7年12月12日(金) 14:00~14:35 広原ホーム、としみホーム		
構成員	職員	2	山元まり子(居宅介護職員) 小原えりか(サービス管理責任者)
	入居者	1	Kさん
	入居者ご家族	1	足田芳子さん
	地域の関係者	2	丸山春次さん(久保原自治公民館館長) 瀬之口眞弓さん(地域の住民兼世話人)
	福祉に知見を有する方	1	長澤優さん(特定非営利活動法人理事長)
	市町村担当者	1	都城市障がい福祉課職員
	会議を始める前に、議事録を起こすためにボイスレコーダーに録音させていただくこと、また議事録をホームページに上げさせていただくことの了承を得る。		

1.開会の挨拶	
2.出席者紹介	・自己紹介
3.地連携推進会議 開催について	・令和7年度から共同生活事業所において、地域連携推進会議の開催が義務化されました。会議の目的として、利用者と地域の関係づくり。地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進。施設等やサービスの透明性・質の確保。利用者の権利擁護。閉鎖的になりやすいグループホームを見ていただき、利用者が安心して暮らせるように地域と連携して、意見交換する場と思ってくださいと説明しました。
4.ホームでの生活 や食事について	・久保原ホームの紹介。入居者の年齢層や家賃の内訳を説明する。別添資料のKさんの1日、ホームでの食事、久保原南ホームのパンフレットを基に説明を行いました。
5.地域活動の参加 について	・別添資料を見てもらいながら、久保原公民館主催の行事参加について紹介しました。
6.ひやりはっと・ 事故報告書について	・久保原南ホームの薬の飲み間違いについて事例を紹介しました。現在はお薬カレンダーを活用して、間違い防止を防ぐように努めていることを説明しました。
7.感染症発生時・ 自然発生時における業務継続計画について	・業務継続計画について研修・訓練の実施状況。研修内容の紹介をしました。
8.避難訓練について	・避難訓練は年に4回実施。自衛防火訓練を2回。緊急連絡網を使用した訓練1回、地震を想定した訓練を1回実施していることを説明しました。
9.閉会の挨拶	
質疑応答	《丸山さん》 ・この会は毎年開かれるのか。

	<p>→今年から義務化され、毎年開催になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者は何人か、世話人1人なのか、</li> </ul> <p>→入居者は4名、世話人は4名になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Kさんの仕事について。アイロンがけがほとんどなのか。リネン年見はどこにあるのか。アイロンを掛けたら持っていくのか。</li> </ul> <p>→畳みがほとんど専門になります。リネン年見は本部の近くの職業訓練校の隣にあります。アイロンをかけたら配達担当の方が持つていてくださいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は年4回実施した中に、火災を想定したもの、地震を想定したものがあるのか</li> </ul> <p>→はい。火災を想定した訓練が2回、地震を想定したものが1回、緊急連絡網を使った訓練が1回になります。</p> <p>《障がい福祉課職員》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬事故に対して市や県に事故報告はあげたのか</li> </ul> <p>→本人の体調に変わりなく、訪問看護に様子を見てもらい、病院受診等もなかったので県や市に報告はしていません。</p> <p>・構成員からの要望、助言</p> <p>《丸山さん》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空気が乾燥していて、大規模な火災が多いので気を付けて欲しい。久保原は区画整理がされていないので消防車が入らない場所が多い。</li> <li>・昔は日本繊維工場があり女工さんや工業高校生徒で、五十市駅を200～300人程利用していて賑やかだった。今は高齢化により地域の運動会が出来なくなつた。</li> <li>・地域連携だから自分がとしみホームまで行く必要があるのか。としみホームは年見の公民館長が行くべきではないのか。</li> </ul> <p>→障がい福祉課職員：それも一理あると思います。各公民館館長に所属してもらって、それぞれのいいところを、悪いところをみていただいてもいいのかもしれません。</p> <p>《障がい福祉課職員》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災では久保原や郡元は救急車が入れない場所が多いので、初期消火を考えると手間を取る地区。出来ることをやるしかない。通報したら分かる人に繋げて、自分の命が大切なので優先して欲しい。</li> <li>・地域連携推進会議については、こういった段取りでこういう風にしてください厳格な決まりはないので、どこの事業者さんも手探り状態</li> </ul>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

です。来年度、開催時に参加した時には、こういった内容があったとアドバイスできると思います。

・施設訪問は地域連携推進会議に合わせて、各グループホームを委員の方が年に1回以上見る事となっています。特に全員参加と書かれていないので、日程調整を調整しあって、行ける方だけでも参加していただき、地域に開かれたグループホームになっているか、運営自体おかしいところはないとかは見るべきところとなっています。

### 《足田さん》

・消防車が入らない場所に家を作つていいのか。

→丸山さん：昔はそういう規制がなかった。事故が起こる度に法が改正されてきた。

・入居者ご家族にお渡しする案内を、Kさんの帰省時に渡してもらうようにお願いしていた。後日、Kさんが案内を回収しに行ってくださっていた。担当者が回収するべきではとのご意見をいただく。

→謝罪し、次回から担当者が回収することをお伝えする。

### 《長澤さん》

・昔は自分も久保原町に住んでいた。今はアパートや家が増えた。昔は何もなく畠ばかりだった。

・仕事柄各ホームに行くことがあるので、施設訪問は1人の参加でもいいのか。

→障がい福祉課職員：特に決まりはない。委員の人が見るとなる。理想としてはこのメンバーでこのまま見に行くことが理想。委員の誰がいつと記録だけ残していただけたら。

### 《山元さん》

・これから先、寒くなりますよね。煙草を吸う人が障害ゆえに禁煙できないというところで、タバコを吸う人も何人かいらっしゃいます。必ず決められた喫煙場所で吸うようにしてください。寒いから部屋で吸うことのないようにしてください。前、玄関で吸っていて、地域の方の所に煙がいってしまうことがあったはずなので、絶対ココという徹底をしたと思います。もしKさんがそういう人を見つけた時に、言えないときにはスタッフに言って、私たちから注意をしますし、地域の方に迷惑が掛かってくるので、火事が起きたら大変なので、守ってく

	<p>れるようにお願いします。</p> <p>→瀬之口さん：電子タバコのゴミが溜まっているが、大丈夫ですか。</p> <p>→小原：日頃からごみを捨てるように声掛けしています。ゴミを溜めるのは良くないので、再度声掛けをします。その日のうちに、Yさんにはごみを捨てるように話し、世話人さん達にもゴミの日に声掛けしていただくようにお願いしました。</p>
・グループホーム 訪問による感想・意見	<p>久保原南ホーム</p> <p>・Kさんの部屋を見ていただく。綺麗にされていますね、日当たりがいいですねと感想をいただく。喫煙所も見ていただいた。</p> <p>令和7年12月12日(金) 14:00~14:15 広原ホーム</p> <p>(世話人室、共有ルーム、居室、浴室、トイレを案内する)</p> <p>障がい福祉課職員：利用者さんは何名ですか？</p> <p>小 原：定員は8名ですが、入居者さんは7名になります。</p> <p>障がい福祉課職員：介護包括型ですか？</p> <p>小 原：はい、介護サービス包括型になります。</p> <p>障がい福祉課職員：広いですね。きれいですね。</p> <p>長澤さん：トイレは何ヶ所あるんですか？</p> <p>小 原：2ヶ所になります。掃除当番が決まっていて、入居者さんが掃除をされています。</p> <p>障がい福祉課職員：お風呂は両方ともシャワーですか？</p> <p>小 原：こちらが浴室、こちらがシャワー室になります。</p> <p>障がい福祉課職員：一部屋見せてもらっていいですか。</p> <p>(Bさんの部屋を見せてもらう。居室見学は本人の了承済み)</p> <p>長澤さん：以前よりきれいにされていますね。</p> <p>小 原：掃除は定期的にチェックをして、声掛けしています。</p>

長澤さん：浸水はどうですか？過去に川が増水して避難したことがあると思います。

障がい福祉課職員：広原ホームは浸水想定区域には入っていないです。川の堤防が決壊して、川の門を閉めた場合は内水氾濫がおき浸水します。ハザードマップは川の堤防が決壊した時の想定図になります。

令和7年12月12日(金) 14:20~14:35

としみホーム

(世話人室、共有ルーム、居室、浴室、トイレ、喫煙所を案内する)

障がい福祉課職員：お久しぶりです。お元気でしたか。

入居者Iさん：お久しぶりです。

小 原：世話人室になります。世話人室で薬を管理しています。

障がい福祉課職員：(お薬カレンダーが並んでいる様子を見て)すごいですね。

障がい福祉課職員：包丁の管理はどうされていますか。

小 原：世話人室で管理しています。

長澤さん：(セコムのパネルを見ながら)これは何ですか。

小 原：セコムのコントロールパネルになります。

障がい福祉課職員：(メニュー表を見ながら)おいしそうですね。

障がい福祉課職員：(ハザードマップをみながら)ここは安全ですね。

長澤さん：お風呂の順番は決まってるんですか。

小 原：順番は決まっていません。事業所から帰宅された方から入るという流れです。

最後に喫煙所を見ていただく。